

会 議 録

会 議 の 名 称	平成24年度 第2回地域協議会
開 催 日 時	平成24年6月22日 午後6時から
開 催 場 所	日新館 市民ホール
出席者氏名	
委員 19 (名)	小沼文夫、佐藤政一、佐藤允尚、佐藤洋一、正木正 (会長) 小番より子、佐藤系悦、土田長夫、土田典子、茂木保、茂木美寶子 伊豆秀一、小番けい子、佐藤寿美子、佐藤孝義、佐藤久美、佐藤嘉孝 (副会長)、豊島一郎、菅原賢一
由利本荘市 (名)	(矢島総合支所) 総合支所長 佐藤晃一、建設課長 佐々木聡、市民福祉課長 佐藤勝一 教育学習課長 佐々木正人、産業課参事 植村俊一 (事務局・・・振興課) 振興課長 伊豆葵、課長補佐 三森隆、主席主査 三浦浩喜、主査 三船恒海
欠席委員氏名 11 (名)	五十嵐徳、土田稔、大井仁史、佐々木和栄、佐藤伸一、佐藤公、土田克夫 原田浩司、茂木昭二郎、岸田良子、蒲田則夫
会議次第 1. 開会 2. 会長あいさつ 3. 報告事項及び連絡事項 4. 協議 5. その他 6. 閉会	
会 議 の 経 過	別紙のとおり

平成24年度 第2回地域協議会

1. 開 会 18:00～（進行：矢島総合支所 振興課長）

2. 会長あいさつ

●会長

委員皆様、本日はご参会いただきありがとうございます。

さて、本日実施いたしました桑の木台湿原視察ですが、15名の委員のご参加をいただき実施することができました。木道整備が完了し、今年から一般開放になった地域の重要な観光資源ですが、やはり多数の来訪者がおり賑わっておりました。今後も自然環境を守りながら、地域の宝として利活用を図っていかなければならない場所と参加委員すべてが思いを新たにしたところでもあります。

それでは本日の流れではありますが、総合支所長から挨拶と併せて地域おこしの基礎資料及び参考例について紹介いただき、その後前回の地域協議会にて設置をご協議いただいた専門部会についてその運営方法を事務方から説明させ、各専門部会に分かれていただき分野毎の協議をしていただく予定であります。

桑の木台湿原視察から参加いただいている委員方々は長丁場となりますが、よろしくご協議くださいますようお願いいたします。

2. 総合支所長あいさつ（参考プレゼンテーション）

●佐藤総合支所長

総合支所長の佐藤でございます。本日はご参会いただきありがとうございます。

さて、私からは本日から協議を開始する専門部会に対して、参考となりそうな矢島地域の現状と先進地として「島根県海士町」の取組紹介をさせていただきます。

最初に「1. 市総合発展計画と行政改革大綱」についてご説明いたします。市総合発展計画は合併した平成17年度から10年間の市の施策の骨格となるものであります。この計画は来年平成26年度で終了し、翌平成27年度からは新たな総合発展計画を策定し町づくりを進めることになっております。

この新たな総合発展計画については平成27年度より合併による交付税合算特例措置が廃止され、交付税が段階的に減額される中での計画となることもあり、市では行政改革大綱に基づき、変革する社会経済情勢に柔軟かつ弾力的に対応できる基盤づくりを進めております。

これから委員皆様にご協議いただきとりまとめる予定の「矢島まちづくりビジョン」はこのような社会状況を視野に入れながらも、矢島地域をどのような地域にしたいのか、そのためにはどのような施策が必要かといったことについて、貴重な地域の意見となりますのでよろしくご協議いただきたい。

次に「2. 矢島地域の状況」であります。矢島地域は公的施設や寺社仏閣、教育機関や大規模事業所が矢島駅から1km以内に集約されている地域であります。これに関連する課題として矢島高校跡地や矢島中学校跡地の利活用、そして耐震性の観点から建て替えも検討されている支所庁舎や福祉会館などが上げられます。住民の利便性の観点からご協議をよろしくお願いいたします。

次に「島根県海士町」の取組紹介であります。海士町は本州の沖合約60kmに浮かぶ隠岐諸

島の一つ「中の島」にあります人口約2500人程度の町であります。この矢島地域と同じく海士町も急激な人口減少と少子高齢化が進み地域社会の危機を迎えておりました。しかし海士町では「先憂後楽」の精神により、単なる財政再建のための短期的施策では乗り切れないとして「産業振興策の積極展開」を図り、豊かな自然環境と地域資源を活かした第1次産業の有効活用「島まるごとブランド化」を進めた結果、2004年4月から2009年12月までの間に144世帯、人口の1割近い234名の定住者が来町したとのこととあります。しかも脱サラ世代ではなく20代から40代までの若者や働き盛りの世代が多いとのこととあります。これは人口減少の中であっても施策により地域を活性化できる好例であります。

次は「市の都市計画と矢島の市街地像」についてであります。市内では本荘市街と矢島市街に都市計画があり、矢島地域には、②研究開発・産業拠点の形成、③周辺都市との交流・連携を促進する広域交通体系の形成、⑤観光圏・日常生活圏の交流拡大を支える骨格道路の形成、⑦賑わい交流拠点の形成、⑧個性ある歴史文化を伝える城下町のまちなみ等の形成、⑩水辺と緑とふれあう交流拠点の形成、以上の計画がなされております。

経済産業省の「地域特性にあった地域経済の発展モデル」では、矢島地域のような中山間地域においては基幹産業である農業と活用した「新地域基幹産業育成モデル」いわゆる「農商工連携」の取組、「観光交流発展化モデル」城下町であった文化背景から、「⑧個性ある歴史文化を伝える城下町のまちなみ等の形成」について、平成20年度に制定された「歴史まちづくり法」を活用した整備が中心なるもと考えております。

将来的には「鳥海山観光ゾーン（鳥海山弘川周辺、桑ノ木台湿原）」、「鳥海高原観光ゾーン（花立牧場公園）」、「まちなかめぐり観光ゾーン（矢島ひなめぐり）」の3ゾーンを確立させることが期待されます。

以上、今後の専門部会に対する参考例のプレゼンテーションを終わります。

3. 協議事項

●会長

ありがとうございます。それでは支所長から紹介いただきました事例を参考にしながら、委員皆様で専門部会にてこれからの矢島地域の将来像についてご協議をよろしくをお願いします。

では、「①部会の運営について」説明願います。

●伊豆振興課長

専門部会は6部会設置し、各専門部会に地域協議会委員を5名ずつ配置する予定で、前回の地域協議会にて部会長、副部会長の2名を選出いただいております。本日は各専門部会にて外部委員3名程度の人選、部会の開催スケジュール、必要な資料を決定していただく予定であります。

専門部会は7月から10月にかけて適時開催し、10月末には素案のとりまとめ、12月には地域協議会にて素案全体を承認するスケジュールでお願いいたします。なお、各専門部会は各主管課で事務を取り扱うこととなっております。また、議論していただきたい項目及び外部委員について資料のとおりとなっておりますので、ご協議よろしくをお願いいたします。

●会長

ありがとうございます。説明ありました事項についてご意見、質問等ありますでしょうか。無いようであれば各専門部会に分かれて協議を始めたいと思いますがよろしいでしょうか。

それでは各専門部会に分かれて協議願います。今回は各専門部会が終了次第解散でお願いします。では、今回の地域協議会は以上で閉じたいと思います。ありがとうございました。